

14団体代表者が壇上に勢ぞろい。左から PGA・小堀賛理事長、認証協、下口二郎代表理事、PCSA・加藤英利代表理事、余解進・宮崎義介代表理事、向友会・松田高志代表理事、メダル工業会・大泉政理事長、補給組合・吳川城市理事長、自工会・木原一雄理事長、四輪遊・伊豆正則理事長、金商協・中村昌勇会長、日電協・津谷友尋会長、金日道連・原田賢理事長



バリーサポート・ネットワーク、財團法人保安電子通信技術協会などの関係者が来賓で出席、報道関係者を含めて会場は約430人でござつた。

「常に優しい業界に」

統いて、21世紀会の構成団体が支援するパチンコ依存問題の相談機関、リカバリーサポート・ネットワークの西村直之代表が、「東日本大震災後に電話相談の件数はいったん減ったが、夏以降にだんだん戻り、この1月は今まで一番多い。状況が変わつても一定の方は問題を抱えてしまう。それが千人に1人か1万人に1人かわからないが、問題を抱える人たちに対する取締りを強化するなど、パチンコが健全娯楽となる施策を推進していく」と挨拶した。

西村RSN代表
を楽しんでいただくファンの皆様とともに、遊技しない人たちにもご理解いただいて味方になつてもらえるような産業を、みんなで力を合わせて築き上げていきたい」と述べ、乾杯の発声をした。

東日本大震災の被災地から秋山県遊協、吉川永造・福島県遊連の3理事長が壇上に上がり、秋山理事長が代表して挨拶した。また、

原田全日遊連理事長が挨拶した。



のめり込みの問題で意見交換する
(左から)西村直之RSN代表と藤原基紀(国際東京理科大学教授)



会話を盛り上がる
(左から)大慶裕記(国際商事副理事長)、玉川達也(保安課長)、金本正浩(全日遊連副理事長)

参加したのは、全日本遊技事業協同組合連合会、社団法人日本遊技連連事業協会、日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合、全国遊技機商業協同組合連合会、回胴式遊技機商業協同組合、遊技場自動補給装置工業組合、遊技場メダル自動補給装置工業会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余暇環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チャーンシステムア協会、一般社団法人ブリベイドシステム協議会、一般社団法人電子認証システム協議会の14団体の役員・幹部。さらに行政当局、特定非営利活動法人リカ

バチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する14団体は1月27日、東京・新橋の第一ホテル東京で「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」を開いた。業界団体合同の賀詞交歓会は08年から行われ、今回が5回目。

参加したのは、全日本遊技事業

健全娯楽へ思いを新たに

バリーサポート・ネットワーク、財團法人保安電子通信技術協会などの関係者が来賓で出席、報道関係者を含めて会場は約430人でござつた。

原田全日遊連理事長

冒頭、14団体の代表者が壇上に並び、代表して原田實全日遊連理事長、石橋保彦日工組副理事長、里見治日電協理事長の3氏が挨拶した。原田理事長は「東日本大震災で東北方面の皆様は悲しい体験をされ、今も厳しい環境で生活されている。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします」と切り出し、

「昨年は総付景品等のガイドラインなど、一時はオッという声で受け止められたが、これらを守ることで大衆娯楽であるという約束ができると思う。この席で皆様と杯を交わしながら、パチンコは日本の文化であり、健全な大衆娯楽でござつた。

加藤保安課長

「より一層健全化へ」

来賓の警察庁、加藤達也保安課長は「業界は不況の中、低料金化や低射幸性遊技機の開発等で、手軽に安く遊べる環境づくりに努められていることに敬意を表する。また、遊技産業健全化推進機構やリカバリーサポート・ネットワー

あるという思いを新たにしよう」と強調した。また、里見理事長は「今年は日電協組合員が一つになって、天変地異とは違い、業界を取り巻くアゲインストの風は、自然現象ではなく何らかの原因がある。英知を絞って原因をあぶり出し、業界が健全化发展するために努力しよう」と述べた。

石橋副理事長は「地震のような天変地異とは違い、業界を取り巻くアゲインストの風は、自然現象ではなく何らかの原因がある。英知を絞って原因をあぶり出し、業界が健全化发展するために努力しよう」と強調した。また、里見理事長は「今

とで大衆娯楽であるという約束ができると思う。この席で皆様と杯を交わしながら、パチンコは日本の文化であり、健全な大衆娯楽でござつた。



にこやかに談談する
(左から)大慶裕記(国際商事副理事長)、木原一雄(自工会理事長)、里見治日電協理事長